

2 研究の実際 > (2) 「強み」に関する活動プログラム

オ 「強み」に関する活動プログラムの実践 授業の考察 (A 高等学校 第 2 学年 3 時目)

◆本時の考察の視点

本時のねらい『強み』に着目した交流活動を通して、『強み』を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の『強み』を見付け、『強み』の生かし方を考えることができるようにする」を達成することができたかを、振り返りシートの結果と記述から考察します。考察の視点は、以下のとおりです。

なお、ワークシートの記述や授業中の様子等も参考にしています。

【① 学習に進んで参加することができたか】

振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問で、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたかを考察します。

【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」の質問で、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたかを考察します。

【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができたか」の質問で、自分の「強み」を知ることができたかを考察します。

【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができたか」の質問で、友達の「強み」を知ることができたかを考察します。

【⑤ 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったか】

振り返りシートの「今後、自分の『強み』を生かしていこうと思いましたか」の質問で、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分の「強み」の生かし方を考えることができたかを考察します。

◆本時の考察（「振り返りシート」の結果と記述から）

【① 学習に進んで参加することができたか】

振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は83.3%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は16.7%でした（図1）。また、生徒の振り返りシートには、「これまでの学習で、自分の『強み』や他の人の『強み』も大体、理解できるようになり、すらすらと書くことができた」「今日は今までで一番、グループでのコミュニケーションを取りながら活動できた」「最初は『何だ。この授業』と思っていたが、授業を受けるたびに友達や自分の『強み』を知ることができて、楽しいと思うようになった」等の記述が見られました。さらに、1時目

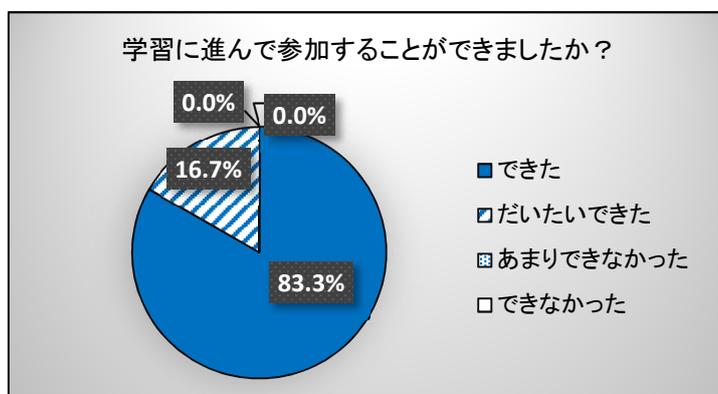


図1 学習に進んで参加することができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

『強み』を知ることができて、楽しいと思うようになった」等の記述が見られました。さらに、1時目

や2時目で「あまりできなかった」と回答した生徒も、「だいたいできた」と回答していました。これらのことから、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の交流活動等に進んで参加し、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたりしたと考えます。

【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は83.3%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は16.7%でした（図2）。また、生徒の振り返りシートには、「ふだん、話さない人とも、この授業をきっかけに話ができたり、意外な一面も知ったりすることができた」「あまり話したことのない人と同じグループになって少し不安だったところもあったが、活動をしていく中で、自分にとって相手にとってもプラスで、マイナスなことは誰にもなかったと感じた」「人

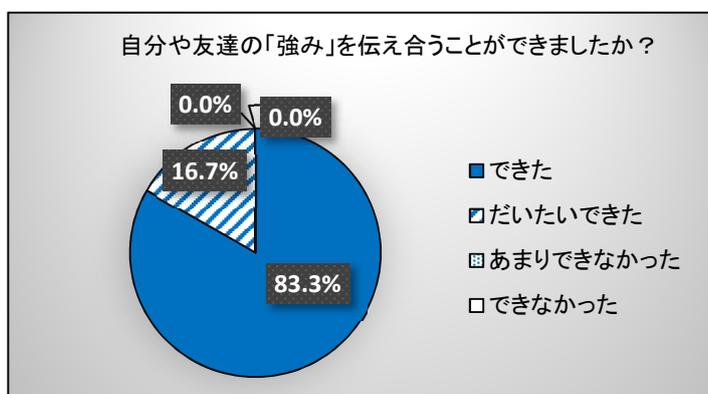


図2 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

に何かを伝えるときの言葉選びの難しさや改善したい点にも気付くことができた」等の記述が見られました。さらに、1時目や2時目で「あまりできなかった」と回答した生徒も、「だいたいできた」と回答していました。これらのことから、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の交流活動等を通して、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたと考えます。

【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は79.1%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は16.7%でした（図3）。また、生徒の振り返りシートには、「自分の考えや友達の意見を基に、自分の『強み』を再確認、整理することができた」「自分が友達からこういうふうに思われていたということが分かって安心した」「今回の学習で自分では気付いていなかった『強み』を知ることができ、自信につながった」「自分の『強み』を知ることで、

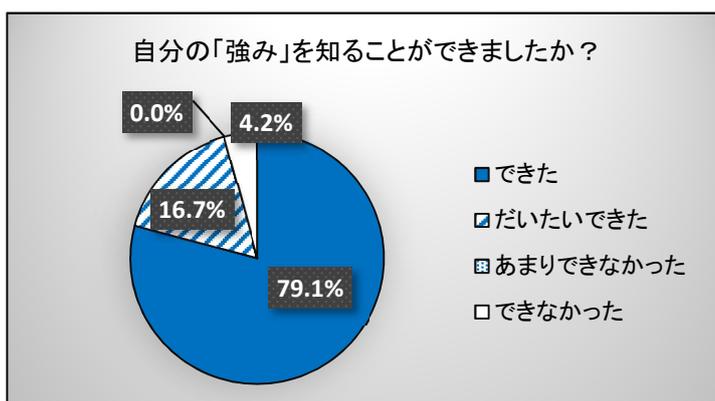


図3 自分の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

自分にもっと必要なことが分かった」等の記述が見られました。これらのことから、ほとんどの生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の交流活動等を通して、自分の「強み」を知ることができたと考えます。一方、「できなかった」と回答した生徒の割合は4.2%（図3）、生徒の振り返りシートの記述には、「ふだん、最悪の事態を想定して物事を考えるようにして

いたが、シンプルに『良かった』と捉えることも大事だと、少し気付かされた。反省だけでなく、自分の『強み』を意識して過ごしていきたい」とありました。学習内容に対する否定的な感想ではなく、自分の中で起きている変化を肯定的に自覚したり、自分の「強み」を自分なりに意識していくことへの意欲を感じたりしていることが分かりました。今後も、このような生徒の学習効果を高めることができるように、個別の言葉掛けや他の教育活動と関連付けた継続的な取組が必要であると考えます。

【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は83.3%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は16.7%でした（図4）。また、生徒の振り返りシートには、「友達の『強み』を書くとき、友達の良いところがたくさん再発見できて良かった」「友達のことを考えることができた。今まで思っていたことと違う考え方で友達と接することができて良かった」「友達の『強み』を見付けていく中で、見習いたい、まねしたいというところを見付けることができたので、とても良い学習になった」等の記述が見られました。さらに、1時目や2時目で「あまりできなかった」と回答した生徒も、「だいたいできた」と回答していました。これらのことから、

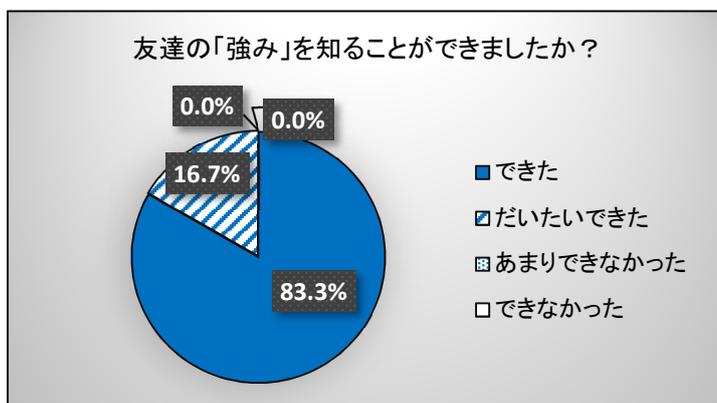


図4 友達の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の交流活動等を通して、友達の「強み」を知ることができたと考えます。

【⑤ 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったか】

振り返りシートの「今後、自分の『強み』を生かしていこうと思いましたが」の質問に対して、「思った」と回答した生徒の割合は70.8%、「だいたい思った」と回答した生徒の割合は25.0%でした（図5）。また、生徒の振り返りシートには、「誰かに認められていると嬉しく感じるし、もっと『強み』を伸ばしたいと思った」「自分の『強み』を知ったことで自分に自信がもてた。今後、面接などで自分の長所を尋ねられる機会も多くなると思うので、今回見付けた『強み』を存分に生かしていきたい」「今までの授業で見付けた『強み』をもう一度捉え直し、周りと共有することで、自分の『強み』を何にどう生かせるかということに気付くことができた」

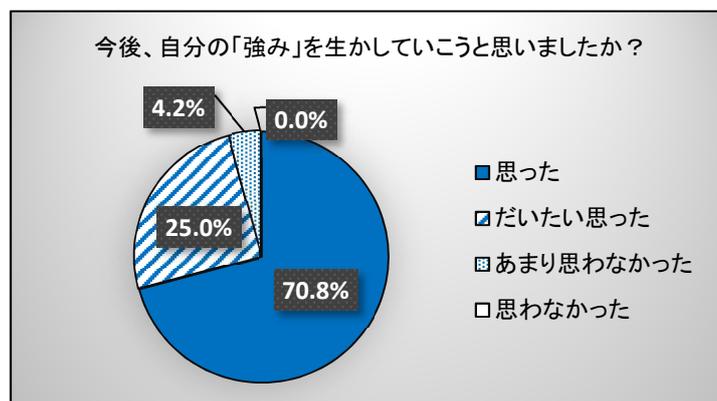


図5 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思っただかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

「最後に、自分の『強み』をまとめ、発表することができた。その『強み』をこれから生きていく中で生かせるときがくると思うので、忘れないように、そして、今よりも『強み』が増えるようにしたい」等の記述が見られました。これらのことから、ほとんどの生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「こ

れがあれば大丈夫！」の交流活動等を通して、自分の「強み」の生かし方を考えることができたと考えます。また、自分の「強み」への理解を深めたことにより、自分の「強み」の生かし方や今後の課題を具体的に考えることができ、これから自分の「強み」を生かしていこうという意欲を高めることができたと考えます。一方、「あまり思わなかった」と回答した生徒の割合は4.2%で（前頁図5）、生徒の振り返りシートの記述には、「ふだん、最悪の事態を想定して物事を考えるようにしていたが、シンプルに『良かった』と捉えることも大事だと、少し気付かされた。反省だけでなく、自分の『強み』を意識して過ごしていきたい」とありました。学習内容に対する否定的な感想ではなく、自分の中で起きている変化を肯定的に自覚したり、その変化を今後の自分の生き方に反映させたいという前向きな意欲を自分の言葉で表現したりしていることが分かりました。今後も、このような生徒の学習効果を高めることができるように、個別の言葉掛けや他の教育活動と関連付けた継続的な取組が必要であると考えます。

以上の結果より、3時目の授業において、ほとんどの生徒は意欲的に授業に参加し、自分や友達の「強み」を知り、それを伝え合い、今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったことが分かりました。一方、「今後、自分の『強み』を生かしていこうと思いましたが」という質問に対して、「あまり思わなかった」と回答した生徒がいました。1時目や2時目同様、この生徒の自己肯定感の低さが影響していることが考えられるものの、振り返りシートの記述には、学習内容に対する肯定的な評価や自らの課題に対する前向きな受け止めが見られました。また、ワークシートには、自分の「強み」として、友達に書いてもらった「強み」を含めて「発想がおもしろい」「物事を良い方向に考えることができる」と書くことができました。これらのことから、直接的に自分の「強み」を見付けるのではなく、友達の「強み」を見付けると同時に友達から「強み」を見付けてもらったり、それを伝え合ったりする交流活動が学習効果を高めることに有効であったと考えます。また、このような生徒が学習に抵抗なく参加することができるようなグルーピングや座席配置、個別の言葉掛け等の配慮に加えて、授業以外の場面でも本人の成長を具体的にフィードバックするなどの個別の言葉掛けを行ったことも、自己肯定感の低い生徒の学習効果を一定程度確保することに有効であったと考えます。

◆ 3時間の授業を通じた考察（「振り返りシート」の結果と記述から）

3時間の授業の振り返りシートに共通する質問項目①「学習に進んで参加することができましたか」、②「自分や友達の『強み』を伝え合うことができましたか」、③「自分の『強み』を知ることができましたか」、④「友達の『強み』を知ることができましたか」に対して、「できた」と回答した生徒の割合は、授業が進むにつれて上がりました（図6）。その理由として、ふだん取り扱わないテーマの学習やグループでの交流活動に対して、当初抱いていた警戒心や不安感が、同じパターンの交流活動を繰り返すことで、徐々に安心感へと変わっていったことが考えられます。また、前述した生徒の振り返りシートの記述や授業中の様子等から、生徒が互いの「強み」を見付けて伝え合う交流活動の意義を理解したり効果を感じたりしていることも分かりました。以上のことから、「強み」に着目した交流活動を繰り返し行う『「強み」に関する活動プログラム』は、生徒が互いに自他のよさを認め合うことに有効であったと考えます。

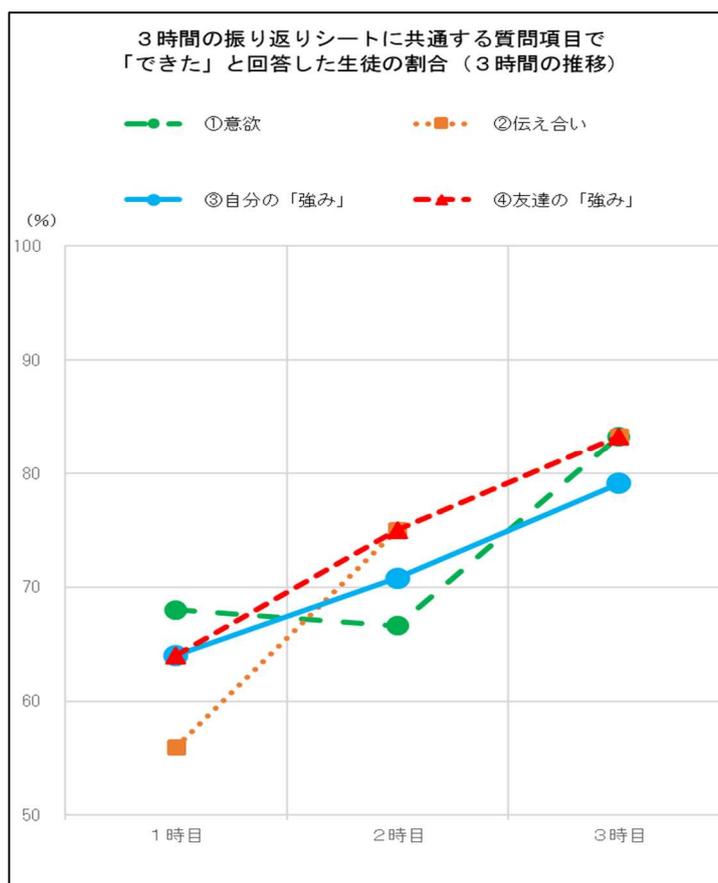


図6 共通する質問項目（①～④）についてのアンケート結果（振り返りシートより）

2 研究の実際 > (2) 「強み」に関する活動プログラム

オ 「強み」に関する活動プログラムの実践 授業の考察 (B高等学校 第1学年 3時目)

◆本時の考察の視点

本時のねらい『強み』に着目した交流活動を通して、『強み』を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の『強み』を見付け、『強み』の生かし方を考えることができるようにする」を達成することができたかを、振り返りシートの結果と記述から考察します。考察の視点は、以下のとおりです。

なお、ワークシートの記述や授業中の様子等も参考にしています。

【① 学習に進んで参加することができたか】

振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問で、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたかを考察します。

【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」の質問で、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたかを考察します。

【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができたか」の質問で、自分の「強み」を知ることができたかを考察します。

【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができたか」の質問で、友達の「強み」を知ることができたかを考察します。

【⑤ 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったか】

振り返りシートの「今後、自分の『強み』を生かしていこうと思いましたか」の質問で、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分の「強み」の生かし方を考えることができたかを考察します。

◆本時の考察（「振り返りシート」の結果と記述から）

【① 学習に進んで参加することができたか】

振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は94.7%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は5.3%でした(図1)。また、生徒の振り返りシートには、「自分や友達の『強み』を見付けることは意外と楽しかった」「友達の『強み』を書いているうちに、『あそこも良いところだ』とか『他にもあった』など、たくさん出てきて、楽しい授業だった」「社会に出て自分の『強み』をアピールしたり他人の『強み』を見付けたりすることは様々な場面

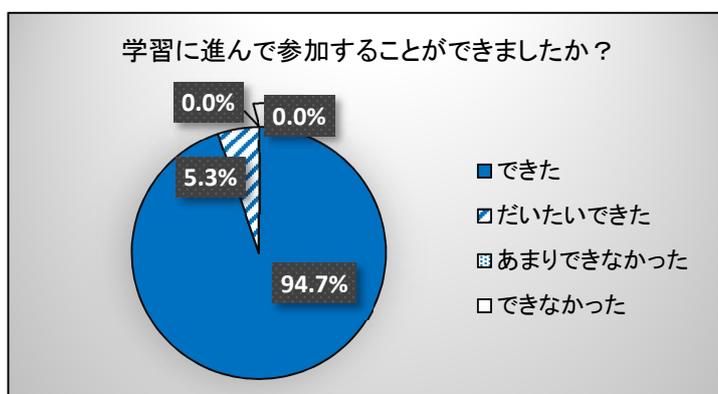


図1 学習に進んで参加することができたかについてのアンケート結果(振り返りシートより)

面で多くあると思うので、今回の活動を生かそうと思った」等の記述が見られました。これらのことが

ら、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の交流活動等に進んで参加し、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたりしたと考えます。

【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は92.1%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は7.9%でした（図2）。また、生徒の振り返りシートには、「自分では気付かないことも、人は気付いているということが改めて分かった」「ワークシートに書いてもらうことで、改めて自分が周りの人からどう見られているのかが分かった」「グループの友達が見付けてくれたことで、自分の『強み』が分かって励まされたので嬉しくなった」「自分や友達の『強み』を見付けることは難しいと思ったけれど、やってみたらたくさん出てきた。交流することはとても楽しかった」等の記述が見られました。これらのことから、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の交流活動等を通して、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたと考えます。

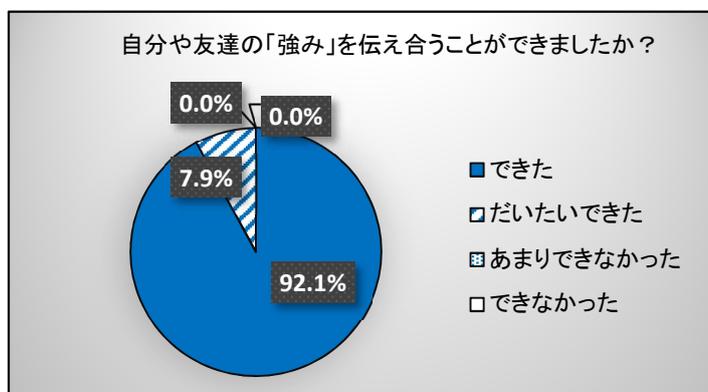


図2 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

は難しいと思ったけれど、やってみたらたくさん出てきた。交流することはとても楽しかった」等の記述が見られました。これらのことから、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の交流活動等を通して、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたと考えます。

【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は92.1%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は7.9%でした（図3）。また、生徒の振り返りシートには、「3時間を通して、同じような『強み』が書かれていたので、自分の『強み』についてより納得することができた」「自分がこれから生きていくときに、どの『強み』が自分を支えてくれるのかを知ることができた」「自分が知らない『強み』を友達から見付けてもらうことで、今まで以上に自分が好きになったし、もっと自分を大切にしようと思った」「自分はあまり素の自分を出せていないので、みんなが書いてくれているものにじっくりこなかった。でも、嬉しかったので、もっと自分を出してみてもいいかなと思えた」等の記述が見られました。これらのことから、ほとんどの生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の交流活動等を通して、自分の「強み」を知ることができたと考えます。

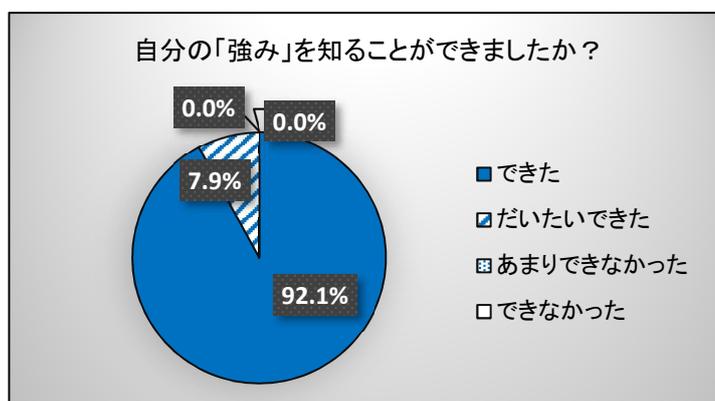


図3 自分の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した生徒の割合は92.1%、「だいたいできた」と回答した生徒の割合は7.9%でした（図4）。また、生徒の振り返りシートには、「『強み』を理解していく中で、自分もっていない『強み』をもって、すごいなと思った」「他の人が見付ける友達の『強み』も個性的でおもしろかった」「人の『強み』をどんどん幅広くしていくことが楽しかった。こんなに良いところがあるんだと気付いてほしいと思った」等の記述が見られました。これらのことから、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の交流活動等を通して、友達の「強み」を知ることができたと考えます。

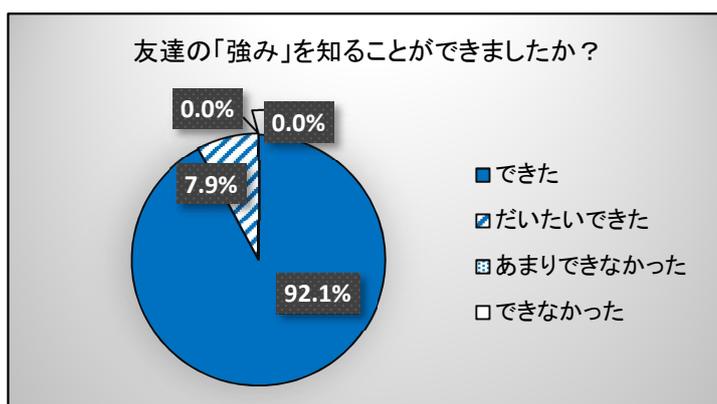


図4 友達の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【⑤ 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったか】

振り返りシートの「今後、自分の『強み』を生かしていこうと思いましたが」の質問に対して、「思った」と回答した生徒の割合は89.5%、「だいたい思った」と回答した生徒の割合は10.5%でした（図5）。また、生徒の振り返りシートには、「これまでの活動で知った自分の『強み』を基に、これからの人生で使える『強み』を増やしていきたい。楽しくて、ためになる活動だった」「自分の『強み』は様々な場面で役に立っし、自分自身を支えるものになるので大事にしていきたい」「今回見付けた『強み』を、今後、どのように生かしていくかが大切で、『強み』があってもそれを隠す人や生かそうとしない人もいる。そんな人たちが自分の『強み』を生かせる学校や社会になっていくといいと思った」等の記述が見られました。これらのことから、生徒は「Treasure Webbing ～『強み』の宝箱～」や「これがあれば大丈夫！」の交流活動等を通して、自分の「強み」の生かし方を考えることができたと考えます。

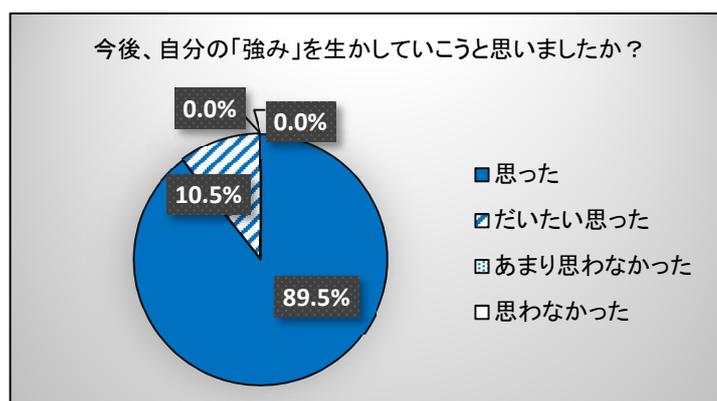


図5 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

以上の結果より、3時目の授業において、生徒は意欲的に授業に参加し、自分や友達の「強み」を知り、それを伝え合い、今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったことが分かりました。振り返りシートのアンケート結果は、1、2時目に比べると全体的に数値の好転又は高い数値の維持が見られました。また、生徒の振り返りシートの記述から、生徒は多くの友達から自分の「強み」を繰り返し書いてもらったり、記述内容を繰り返し見直したりしたことにより、最初は、「強み」の記述内容に驚きや戸惑いを感じて

いたものの、次第に、納得を伴った受け止めをしていったことが分かりました。さらに、3時目になると、学習活動を楽しむ心の余裕や楽しみながら学ぶことへの満足感が生まれたり、今の自分を肯定的に受け止めながら今後の自分に対する自信をもったりしていったことも分かりました。これらのことから、直接的に自分の「強み」を見付けるのではなく、友達の「強み」を見付けると同時に友達から「強み」を見付けてもらったり、それを伝え合ったりする交流活動を通して、生徒が視覚情報としての肯定的な他者評価を繰り返し受けたことにより、自己理解を深めたり自己評価を肯定的に変化させたりすることにつながったと考えます。また、これまで学習しなかったり、ふだん考えなかったりしたことを友達と一緒に楽しみながら学習したことにより、学習内容だけでなく学習することそのものの意義を感じたり、今後の人生において、自分の「強み」を生かしていきたいという意欲をもつことや生かし方を考えていくことの重要性に気付いたりすることにつながったと考えます。

◆ 3時間の授業を通じた考察（「振り返りシート」の結果と記述から）

3時間の授業の振り返りシートに共通する質問項目①「学習に進んで参加することができましたか」、②「自分や友達の『強み』を伝え合うことができましたか」、③「自分の『強み』を知ることができましたか」、④「友達の『強み』を知ることができましたか」に対して、「できた」と回答した生徒の割合は、授業が進むにつれて全体的に数値の好転又は高い数値の維持が見られました（図6）。その理由として、ふだん取り扱わないテーマの学習やグループでの交流活動に対して、当初抱いていた不安感が、同じパターンの交流活動を繰り返すことで、徐々に安心感へと変わっていったことが考えられます。また、前述した生徒の振り返りシートの記述や授業中の様子等から、生徒が互いの「強み」を見付けて伝え合う交流活動の意義を理解したり効果を感じたりしていることも分かりました。以上のことから、「強み」に着目した交流活動を繰り返し行う『強み』に関する活動プログラムは、生徒が互いに自他のよさを認め合うことに有効であったと考えます。

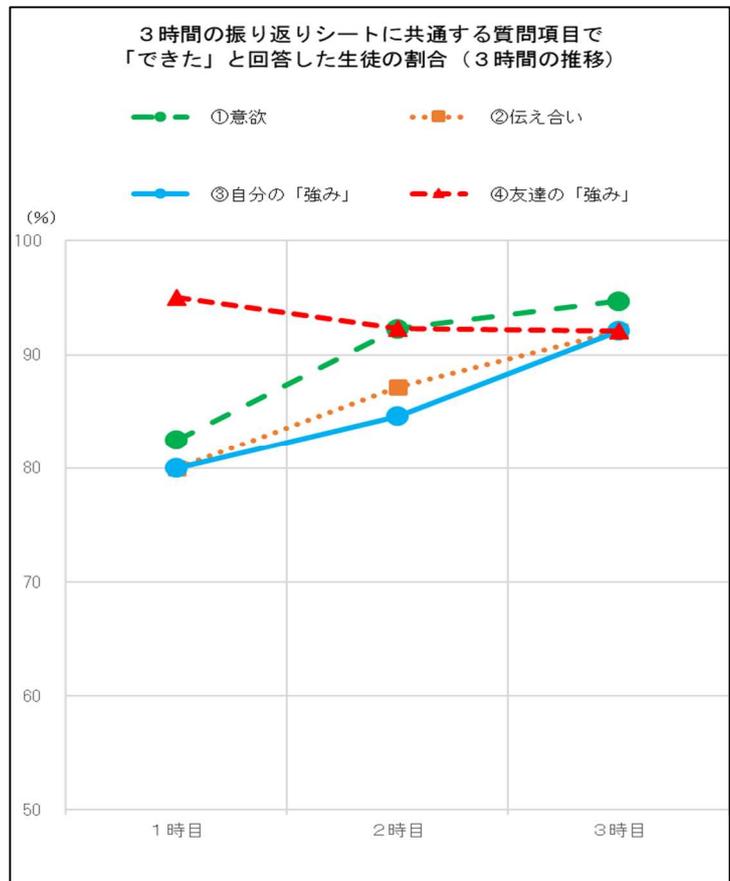


図6 共通する質問項目（①～④）についてのアンケート結果（振り返りシートより）